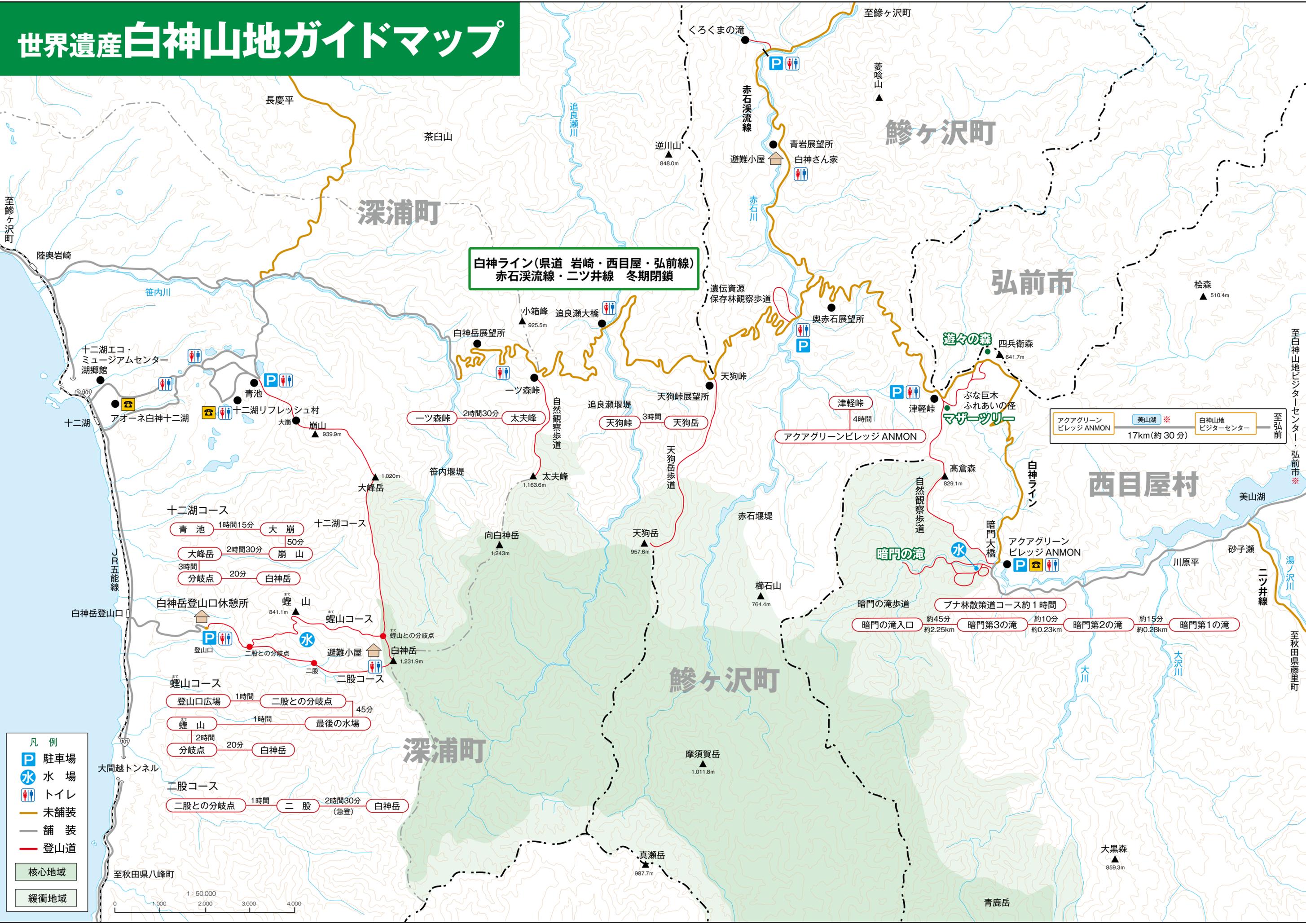


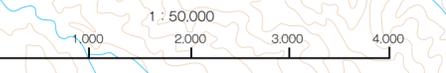
世界遺産白神山地ガイドマップ



白神ライン(県道 岩崎・西目屋・弘前線)
赤石溪流線・二ツ井線 冬期閉鎖

- 凡例
- P 駐車場
 - 水 水場
 - T トイレ
 - 未舗装
 - 舗装
 - 登山道
 - 核心地域
 - 緩衝地域

至白神山地ビジターセンター・弘前市※
至秋田県藤里町



世界遺産 白神山地ガイドマップ

発行：白神山地ビジターセンター

白神山地の概要

白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる約130,000ヘクタールに及ぶ山地で、中でも世界最大の面積で広がる原生的なブナ林16,971ヘクタールは、1993年(平成5年)12月、鹿児島島の屋久島と共に世界遺産条約に基づく日本初の世界自然遺産として登録されました。青森県側の面積はその約四分の三を占める12,627ヘクタールで秋田県側が4,344ヘクタールです。

白神山地の地質は、白神岳付近に分布する白亜紀(6500万年～1億4600万年前)の花崗岩を基盤とし、それに200万～2000万年前の海底に堆積した砂・泥・火山灰などの堆積岩が厚く重なって構成されています。それらが活発な隆起活動によって山地となったため川が谷を深く削り、落差の大きな滝も多く見られます。

白神山地は、ツキノワグマ、ニホンザル及び特別天然記念物であるニホンカモシカや天然記念物であるクマゲラ、イヌワシをはじめ、ブナ、ミズナラ、サワグルミなど多くの樹木、アオモリマンテマ、ツガルミセバヤなどの特産種を含む豊かな動・植物相をもち、遺伝子の貯蔵庫といわれています。

この豊かな森から恵みを受けて生活してきたマタギと呼ばれる人々は、独特の文化を育んできました。また、豊かな森林資源を背景に林業の場として活用されてきたほか、西目屋村の尾太鉱山に代表される鉱山跡地もあります。

現在、世界遺産地域の保護管理は、「白神山地世界遺産地域管理計画」に基づき、各種制度を所管する国・県の関係行政機関が行っています。

●お問い合わせは
白神山地ビジターセンター
〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1
TEL 0172-85-2810
FAX 0172-85-2833
ホームページアドレス <http://www.shirakami-visitor.jp>

